

中国語教育学会会報

第17号(通巻42号) 2006年4月26日発行

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
東京外国語大学中国語研究室内
中国語教育学会
郵便振替口座00110-1-191152

目次

(1) 新会長挨拶 (2) 新役員名簿 (3) 事務局移転のお知らせ (4) 「第4回全国大会」報告 (5) 新規会員紹介その他 (6) 会費納入のお願い (7) 例会のお知らせ

(1) 新会長挨拶

ご挨拶

このたび図らずも中国語教育学会の会長に選出されました。浅学菲才で甚だ経験不足の身ではありますが、会員の皆さまからのご協力をいただき、学会および斯学の発展に向けて微力を尽くして参りたいと存じます。

私たちの中国語教育学会は来年度開催の総会で設立5年を迎える若い組織です。と同時に、学会の前身である全国中国語教育協議会の準備段階から数えると、ちょうど10年の歴史を有しています。この10年の間に、中国語教育ひいては外国語教育をとりまく環境が大きく変化しました。言語教育におけるハードとソフト両面の条件も日進月歩しています。中国語に対する意識やニーズも多種多様に変質していることを今一度ここで確認すべきであると感じています。

私たちの学会が10年の歴史を継承しながら、このような変化に対しても柔軟に対応できる組織であること、会の内外に開かれた風通しの良い組織であること、そして何よりも誰もがこの学会の会員であることに満足と誇りを持っていただけるような組織であることを目指したいと思います。皆さまのご支援とご教示を重ねてお願い申し上げます。

2006年早春

中国語教育学会(2006-2007年度)会長 古川 裕
(大阪外国語大学)

(2) 新役員名簿

中国語教育学会役員(2006-2007年度)名簿

顧問: 輿水 優

会長: 古川 裕

代表理事: 荒川清秀、西川和男、平井和之、藤井達也、三宅登之、山田眞一

理事: 岩本真理、遠藤光暁、遠藤雅裕、王 占華、大川完三郎、加藤晴子、
郭 春貴、日下恒夫、胡 士雲、胡 興智、佐藤富士雄、高橋弥守彦、
武信 彰、陳 淑梅、丸尾 誠、守屋宏則、楊 光俊、吉田隆司、依藤 醇

会計監査: 勝川裕子、中西千香

幹事: 郭 修静、森 宏子

(敬称略、50音順)

(3) 事務局移転のお知らせ

新事務局連絡先

これまで東京外国語大学に所在した学会事務局を6月から下記に移すことになりました。

〒562-8558 (この郵便番号だけで、住所は省略しても、郵便物は届きます)

大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1

大阪外国語大学 中国語学研究室内

中国語教育学会

電子メールでの事務局へのご連絡は下記アドレスへお願いします。

<ch_teaching@yahoo.co.jp>

(4)「第4回全国大会」報告

第4回全国大会が、100名余の会員の参加を得て、2006年3月25日(土)大東文化大学板橋キャンパス(東京都板橋区)にて開催された。事務局の置かれている大学以外で開催されたのは初めてのことであった。

開会式

午前10時定刻に岡部謙治(大東文化大学)、竹島毅(大東文化大学)両会員の司会で始まり、大東文化大学の山崎俊次外国語学部長と中村浩一中国語学科主任が歓迎の挨拶を述べられた。依藤醇会長は挨拶の中で学会の更なる発展の必要性を強調した。

記念講演

興水優東京外国語大学名誉教授の司会のもとで、ジョージワシントン大学王清源教授による記念講演「五十年來美國一般大學初級漢語課程教學法的發展」が行なわれた。

研究報告会

昼食休憩を挟んで行なわれた「研究報告会」では、二つの分科会で13名の会員による研究発表が行なわれた。また、分科会の一つで「北京語言大学出版社社長」による中国語教育と教科書との関係についての報告(代読)があった。(プログラムは会誌『中国語教育(第4号)』参照)

会員総会

16時から約45分間行なわれた。西川優子氏と山田眞一氏が議長に選出され議事が進行された。今回の総会の議案は以下のとおりであった。1.(会長による)会務報告(資料①参照) 2. 郵便投票の結果(資料②参照)による新会長、古川裕氏の選出 3. 会計報告(資料③参照) 4. 会則改正について(資料④参照) 5. 次期大会開催時期と開催校等について(資料⑤参照) 6. 新会長挨拶 7. 冊子「中国語初級段階の文法ガイドライン(試案)」の発行について(興水優「学力基準プロジェクト委員会」委員長)

懇親会

17:00から約2時間、大東文化大学「グリーン・スポット」を会場として高橋弥守彦氏の司会の下で懇親会が開催された。この全国大会のために米国から来日され記念講演をされた王清源教授をはじめ多くの会員が参加した。

資料① 会務報告

会員数：336名、 2005年度新入会員数：31名、2005年度退会者：2名(他に3年以上会費未納による退会対象者：8名)、2005年度会費納入率：82.7%

会誌『中国語教育』(第4号)が発行された。理事全員による査読を経て会員8氏の論文が掲載された。別に、復旦大学の戴耀晶教授による論文が依頼論文として掲載された。希望者4名には実費により抜刷を作成した。

資料② 役員(理事)予定者の選挙結果

2006年3月14日開票 投票数：75通

33票：古川 裕 32票：依藤 醇 30票：荒川 清秀 20票：相原 茂、郭 春貴、平井 和之
16票：佐藤富士雄 15票：高橋弥守彦 14票：大川完三郎 13票：三宅 登之 12票：遠藤 光暁、
守屋 宏則 10票：陳 文芷、山田 眞一 9票：日下 恒夫(敬称略・50音順、以下省略)

資料③会計報告

2005年度決算報告と2006年度予算案(別紙参照)が満場一致で承認された。

資料④会則改正について

懸案であった顧問と名誉会員に関して会則改正が提案され、満場一致で承認された(下記参照)。

中国語教育学会会則改正 (_____部分が変更箇所)

2006年3月25日改正

第4条(会員)

(旧)本会の会員は本会の設立趣旨に賛同し、所定の会費を納入した個人および団体とする。国外居住者は個人にかぎり国内連絡先を届け出た場合のみ会員の資格を得る。団体会員は議決権を有しな

い。

(新) 本会の会員は本会の設立趣旨に賛同し、所定の会費を納入した個人および団体とする。国外居住者は個人にかぎり国内連絡先を届け出た場合のみ会員の資格を得る。団体会員は議決権を有しない。上記の会員のほかに名誉会員を置く。名誉会員に関する規定は別に定める。

第6条（役員）

(旧) 本会の活動を円滑に遂行するため、次の役員を置く。

1. 会長 1名
2. 代表理事 若干名
3. 理事 若干名
4. 会計監査 2名
5. 幹事 若干名

(新) 本会の活動を円滑に遂行するため、次の役員を置く。

1. 会長 1名
2. 代表理事 若干名
3. 理事 若干名
4. 顧問 若干名
5. 会計監査 2名
6. 幹事 若干名

第7条（役員の仕事）

(旧) 1. 会長は本会を代表し、会務を総括する。

2. 代表理事は会長を補佐する。
3. 理事は会務の遂行にあたる。
4. 会計監査は経理を監査する。
5. 幹事は日常の会務を処理する。

(新) 1. 会長は本会を代表し、会務を総括する。

2. 代表理事は会長を補佐する。
3. 理事は会務の遂行にあたる。
4. 顧問は会長の諮問に応ずる。
5. 会計監査は経理を監査する。
6. 幹事は日常の会務を処理する。

第8条（役員を選出と任期）

(旧) 会長、理事は総会において選出する。選出方法に関しては別に定める。代表理事は選出された理事の中から会長が委嘱する。会計監査ならびに幹事は会員の中から会長が委嘱する。役員の仕事は2年間とし、再任を妨げない。ただし、会長の再任は1回にかぎる。役員は就任時に満68歳を超えてはならない。

(新) 会長、理事は総会において選出する。選出方法に関しては別に定める。代表理事は選出された理事の中から会長が委嘱する。会計監査ならびに幹事は会員の中から会長が委嘱する。役員の仕事は2年間とし、再任を妨げない。ただし、会長の再任は1回にかぎる。役員は就任時に満68歳を超えてはならない。

顧問に関する規定は別に定める。

内規

名誉会員の決定と顧問の委嘱に関する内規（→第4条、第8条関連）

1. 名誉会員は、年齢満70歳以上で、継続して5年以上本会会員であったものとする。

名誉会員は本人からの申告をもとに、大会の総会において決定する。
名誉会員の会費は免除する。

2.本会の顧問は年齢満 68 歳以上の会員で、本会の発展に特に大きな功労のあったものに委嘱する。
会長は顧問の委嘱について理事会に諮り、総会に報告して承認を得る。

資料⑤次期大会開催時期と開催校等について

第 1 回～第 4 回大会はすべて 3 月最終土曜日に開催されてきたが、開催時期の変更を求める意見が以前より多く聞かれ、理事会の討議を経て、第 5 回大会は 2007 年 5 月に開催することに決定された。会場は関西大学での開催の方向で当大学と交渉中である旨、会長より報告があった。2008 年度も 5 月開催の可能性が高く、2008 年 3 月までの任期である役員選挙は 2007 年 5 月の第 5 回大会までに実施することになる。

(5) 新規会員紹介その他

新規会員氏名 (敬称略)

王 占 華 王 平 胡 士 雲 佐藤 惠一 申 亜 敏 千場由美子
張 猛 林 ひふみ 馮 戰 兵 深緑 玲子 藤井 達也 陸 薇

退会者氏名 (敬称略)

望月 圭子 石原 康彦

住所不明会員 (敬称略)

下記会員について住所・所属先等をご存知の方は事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。
趙 慶 堯 李 春 呂 紅 梅

(6) 会費納入のお願い

2006 年 4 月からの新規会員を含めて、2006 年度の会費を請求させていただきました。旧事務局からの郵送でお願いしておりますが、事務局が移転しても郵便振替番号はそのまま継続されますので、ご安心ください。2006 年度会費は 5,000 円です。滞納分がある方につきましては個別に振替用紙に必要金額を記させていただきました。

(7) 例会のお知らせ

(今年度最初の例会です。関西地区での初の例会でもあります。奮ってご参加ください。)

【中国語教育学会 例会のご案内】

- iPod&iTunes—新しい中国語教育のツール (仮題) : 清原文代(大阪府立大学)
- ポッドキャストによる中国語教育 (仮題) : 氷野善寛(関西大学・院)
- 司会 (予定) : 内田慶市 (関西大学)

■日時 : 7 月 2 日 (日) 13:00~16:00

■場所 : 関西大学千里山キャンパス 岩崎記念館 4F 多目的ホール
大阪府吹田市山手町 3-3-35

■主催 : 中国語教育学会

■後援 : 日本中国語 C A I 研究会

2005 年度決算報告(05-03-24~06-03-31)

	〈予算〉	〈決算〉
<u>収入</u>		
会費収入	1,200,000	1,514,054
会誌売上	40,000	80,570
繰越金	1,844,117	1,844,117
寄付		10,000
合計	3,084,117	3,448,741
<u>支出</u>		
幹事手当・報酬	200,000	180,000
学会誌第4号 印刷費	300,000	207,551
ホームページ作成・維持費	50,000	18,690
諸会議費	100,000	230,460
郵便費	320,000	267,990
事務費	100,000	55,379
交通費	100,000	76,000
第4回全国大会費補助	100,000	100,000
予備費	1,814,117	2,312,671
合計	3,084,117	3,448,741

証票と照合した結果、上記の通り、誤りはありません。

2006 年 3 月 24 日

会計監査 植村麻紀子 
竹中佐英子 

2006 年度予算案

<u>収入</u>	
会費収入	1,400,000
繰越金	2,312,671
会誌売上	50,000
合計	3,762,671

<u>支出</u>	
幹事手当・報酬	200,000
学会誌第 5 号印刷費	300,000
諸会議費	150,000
郵便費	320,000
事務費	200,000
交通費	150,000
第 5 回大会費	150,000
予備費	2,292,671
合計	3,762,671